日米投信概況
米国籍日本株ETFにアベノミクス以来の買い！　海外投資家の日本株買いはグローバル株ファンドから米アドバイザーの日本株ETFに？～米国とイスラエルのイラン攻撃で、米国では米国株ファンドが総じて純流出～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社　経営企画部　松尾健治（シニアリサーチアナリスト）
窪田真美（シニアリサーチアナリスト）

- 米国とイスラエルのイラン攻撃の中、日本では日本大型株ファンドの純流入が続く！ ……p.1
- 米国では米国株ファンドが総じて純流出となる中、日本株ファンドの純流入が続く!!～米国籍日本株ETFにアベノミクス以来の買い！　海外投資家の日本株買いはグローバル株ファンドから米アドバイザーの日本株ETFに？～……p.3

●米国とイスラエルのイラン攻撃の中、日本では日本大型株ファンドの純流入が続く！

日本籍の投信全体の純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年3月4日(水)までの1週間に+7,069億円と14週連続の純流入(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。　公募投信(除くETF)は+5,092億円と2月4日週(+6847億円)以来4週ぶりの大きな純流入で、2024年1月3日週より純流入継続。　ETFは+1,977億円と3週ぶりの純流入で、昨年2025年10月29日週(+8042億円)以来18週ぶりの大きな純流入。

（出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成）

2026年2月28日(土)に米国とイスラエルはイランに“エピック・フューリー(壮絶な怒り)作戦”を開始した/U.S. and Israeli forces launched “Operation Epic Fury” against the regime in Iran(2026年2月28日付米中央軍司令部/U.S. Central Command「U.S. Forces Launch Operation Epic Fury > U.S. Central Command」～ https://www.centcom.mil/MEDIA/PRESS-RELEASES/Press-Release-View/Article/4418396/us-forces-launch-operation-epic-fury/)。

(出所: 米中央軍司令部/U.S. Central Command)

日経平均株価は2026年3月2日(月)より3日続落、3月4日(水)に前日比-2,033.51円の54,245.54円と、2026年2月5日以来約1か月ぶり安値となり、2026年2月27日に付けた58,850.27円と言う過去最高値から-7.8％/-4,604.73円の下となった(金曜日3月6日に55,620.84円、本日月曜日3月9日に52,728.72円)。　TOPIXも2026年3月2日より3日続落、3月4日に3,633.67と、2026年2月2日以来約1か月ぶり安値となった。

公募投信(除くETF)の2026年3月4日週の純設定額+5,092億円について分類別に見る。 純流入1～5位はグローバル株、米国株、グローバル株(除く日本)、日本株大型ブレンド、日本株大型グロース。 この1～5位はいずれも前週2月25日週を上回る純流入。 純流出1～3位は日本株中小型バリュー、インド株、米国REIT。

日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)　　2026-03-04現在
*ETF・MMFを含まない。 週次推計の為、月次のものとは異なる。　　…日本株投信。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	World Equity	+183,374	+151,833	+629,753	29,446,115	グローバル株
2	US Equity	+67,539	+41,959	+246,488	32,557,386	米国株
3	World ex-Japan Equity	+50,431	+47,223	+150,628	17,502,573	グローバル株-日本を除く
4	Japan Large-Cap Blend Equity	+40,870	+40,045	+148,989	7,794,683	日本株大型ブレンド
5	Japan Large-Cap Growth Equity	+40,524	+3,859	+67,554	9,145,379	日本株大型グロース
6	Commodity	+31,468	+28,076	+192,472	4,103,718	商品
7	Moderately Aggressive Allocation	+30,773	+23,536	+88,028	5,929,073	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
8	Aggressive Allocation	+18,405	+16,257	+60,142	1,349,006	アグレッシブ・アセットアロケーション
9	Conservative Allocation	+16,871	+9,106	+35,193	2,895,070	コンサバティブ・アセットアロケーション
10	Japan Large-Cap Value Equity	+16,334	+17,655	+52,744	2,428,272	日本株大型バリュー
20	Japan Specialty Equity	+4,225	+4,147	+14,558	762,681	日本・特定テーマ/セクター株
23	Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	+2,847	+3,781	+10,896	385,323	日本株中小型株ブレンド
76	Japan Money Market	-1,460	-741	-3,236	26,596	日本マネー
77	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-2,015	-338	-8,298	1,110,501	日本株中小型株グロース
78	US Equity - JPY Hedged	-2,104	-2,967	-8,017	528,363	米国株-円ヘッジ
79	Moderately Conservative Allocation	-3,572	-15,026	-41,041	3,081,868	モデレート・コンサバティブ・アセットアロケーション
80	US Bond	-3,811	-480	-18,855	758,872	米国債
81	Other Allocation	-6,288	-5,791	-10,458	894,129	その他アロケーション
82	Japan REIT	-6,328	+535	-3,709	2,340,774	日本REIT
83	US REIT	-7,346	-8,798	-22,212	2,297,775	米国REIT
84	India Equity	-7,704	-5,136	-27,072	2,583,959	インド株
85	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-50,946	+6,000	-40,080	1,684,895	日本株中小型バリュー
	全85分類の合計	+509,182	+412,326	+1,712,470	182,425,034	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	-5.43	+0.94	-0.57		
	S&P500	-1.08	+0.97	-0.08		
	MSCI ワールド	-1.95	+0.84	-0.27		

上位10分類 ↑　↓ 下位10分類

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)
※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

4位日本株大型ブレンド、5位日本株大型グロース、10位日本株大型バリューと、**日本の大型株ファンドへの純流入が目立つ**(日本株中小型株グロースは-20億円と前週2月25日週-3億円から純流出加速。日本株中小型株バリューは-509億円と前週2月25日週+60億円から純流出)。

日本株大型ブレンドは+409億円の純流入と17週連続純流入(←2026年2月25日週+400億円←2026年2月18日週+303億円←2026年2月11日週+378億円←2026年2月4日週+495億円←2026年1月28日週+768億円～週次ベースで2000年3月1日週以来最大の純流入～)。 日本株大型グロースは+405億円の純流入と3週連続純流入で加速中(←2026年2月25日週+39億円←2026年2月18日週+272億円←2026年2月11日週-40億円←2026年2月4日週/-82億円←2026年1月28日週+486億円)。 日本株大型バリューは+163億円の純流入と21週連続純流入(←2026年2月25日週+177億円←2026年2月18日週+150億円←2026年2月11日週+38億円←2026年2月4日週+203億円←2026年1月28日週+205億円←2026年1月21日週+243億円～週次ベースで2005年12月14日週以来最大の純流入～)。

●米国では米国株ファンドが総じて純流出となる中、日本株ファンドの純流入が続く!!
～米国籍日本株ETFにアベノミクス以来の買い！ 海外投資家の日本株買いはグローバル株ファンドから米アドバイザーの日本株ETFに？～

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年3月4日までの1週間に+129億ﾄﾞﾙ/約2.0兆円と36週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 この内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-95億ﾄﾞﾙ/約1.5兆円と4週連続の純流出。 一方、ETFは+224億ﾄﾞﾙ/約3.5兆円と36週連続の純流入(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_231127.pdf)。

（出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成）

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される（本レポートは作成時点の最新値を使用）。

2026年3月4日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。 純流入1～3位は米国超短期債、トレーディングレバレッジ株式(ブル型)、社債(日本株は+11億ドルと4週連続純流入、債券が+169億ドルと長期純流入)。 純流出1～3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国大型グロース株、商品・フォーカス。 コモディティファンドは全体で-30億ドルと2週ぶりの純流出、金ETF等の「商品・フォーカス/Commodities Focused」も2週ぶり純流出で2025年10月29日(-37億ドル)以来の大きな純流出。

米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)　　2026-03-04現在

*ETFを含むがMMFを含まない。 週次推計の為、月次のものとは異なる。　□…日本株投信。

	順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
上位10分類↑	1	Ultrashort Bond	+2,436	+2,045	+10,473	459,217	米国超短期債
	2	Trading--Leveraged Equity	+2,161	-468	+1,184	125,825	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
	3	Corporate Bond	+1,971	+1,998	+8,262	203,189	社債
	4	Intermediate Core-Plus Bond	+1,851	+1,057	+5,984	666,890	米国中長期コアプラス債
	5	Digital Assets	+1,659	-289	+219	118,071	デジタル資産(ビットコイン等)
	6	Foreign Large Blend	+1,620	+4,680	+14,062	1,484,577	外国大型ブレンド株
	7	Large Value	+1,606	+3,177	+11,637	1,555,443	米国大型バリュー株
	8	Derivative Income	+1,535	+1,348	+5,103	175,500	デリバティブ・インカム
	9	Equity Energy	+1,472	+881	+3,526	68,769	エネルギー株(非MLP)
	10	Industrials	+1,443	+637	+4,330	102,986	農業・インフラ・輸送等
	14	Japan Stock	+1,111	+1,369	+4,113	49,705	日本株
下位10分類↓	115	Small Value	-653	+13	+263	264,414	米国小型バリュー株
	116	Small Growth	-726	-63	-1,457	171,669	米国小型グロース株
	117	Mid-Cap Growth	-756	-1,319	-3,673	278,373	米国中型グロース株
	118	Small Blend	-882	-2,043	-120	512,320	米国小型ブレンド株
	119	Foreign Large Growth	-991	-343	-1,983	207,818	外国株大型グロース株
	120	Bank Loan	-1,223	-1,273	-3,422	54,397	米国バンクローン
	121	Financial	-1,732	-2,069	-5,637	96,071	金融株
	122	Commodities Focused	-2,983	+4,720	+445	386,232	商品・フォーカス
	123	Large Growth	-7,132	+552	-12,539	1,946,367	米国大型グロース株
	124	Large Blend	-9,143	-1,274	-4,897	5,243,341	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
		全124分類の合計	+12,912	+35,165	+117,109	22,091,997	
		指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
		TOPIX (東証株価指数)	-5.43	+0.94	-0.57		
		S&P500	-1.08	+0.97	-0.08		
		MSCI ワールド	-1.95	+0.84	-0.27		

（出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成）

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

米国株ファンドが総じて純流出となる中、**日本株ファンドは+11.1億ﾄﾞﾙの純流入、前週2月25日週に+13.7億ﾄﾞﾙと2013年5月22日週(+15.3億ﾄﾞﾙ)以来約13年弱ぶりの大きな純流入**となっていた(←2026年2月25日週+13.7億ﾄﾞﾙ←2026年2月18日週+10.2億ﾄﾞﾙ←2026年2月11日週+6.1億ﾄﾞﾙ←2026年2月4日週-1.4億ﾄﾞﾙ←2026年1月28日週-1.6億ﾄﾞﾙ)。 MSCIジャパン・ネット・トータル・リターン・インデックス/MSCI Japan Net Total Return USD Indexへの連動をめざすインデックスファンド「iシェアーズMSCIジャパンETF/iShares Core MSCI Intl Dev Mkts ETF(ﾃｨｯｶｰ: EWJ)」などが牽引している。

米国籍日本株ETFは2026年3月4日週に+11億ﾄﾞﾙ/約1,738億円と4週連続純流入で、前週2026年2月25日週の+14億ﾄﾞﾙ/約2,150億円～2013年5月22日週以来13年弱ぶり多さ～に次ぐ大きな純流入(岸田政権時の純流入最大である2023年6月14日週の+11億ﾄﾞﾙ/1,500億円を上回っているが、アベノミクスの第2次安倍政権時にあった過去最大の純流入となる2013年4月17日週の+17億ﾄﾞﾙ/約1,700億円に接近中)。 2013年4月17日週に過去最大の純流入を記録した後も株価は堅調で2013年5月22日に日経平均株価は5か月ぶりの高値(2007年12月25日以来高値)を付けている。

(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

日本で「海外投資家の日本株買い」と言う場合、2026年1月までの4か月は米国籍の海外株式インデックスファンド「Vanguard Total International Stock ETF(ﾃｨｯｶｰVXUS)」など米国籍グローバル株ファンドが多く、日本株ファンドは2025年12月から流入が始まったばかりだった(2026年2月24日付投信調査コラムNo.439「世界の日本株投資ファンド～高市内閣2.0の国内投資促進策はコーポレートガバナンス改革で企業も『貯蓄から投資へ』!? 国籍別・投資地域別日本株投資および日本株ファンド販売地域・国別フロー～」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_260224.pdf)。 米国籍グローバル株ファンドの日本株買いは米国投資家が国際分散投資を目的にグローバル株ファンドに資金を振り向ければ自然に日本株投資に向かう事から生まれる為、特に高市政権に期待して日本株を買うなどと言う日本株志向が強いと言うものでない。 一方、**米国籍日本株ETFの日本株買いは米国ファイナンシャル・アドバイザーが高市政権に期待して投資一任契約のリターン向上を目的に行う**場合がある(少しでもリターンを増やす為、節税の為、フィデューシャリー・デューティーの為、低コストのETFとなる…2025年12月8日付投信調査コラムNo.434「2026年は米国でETF(シェア)クラス設定ブームもありETF好調継続へ！～ETF革新の'第三の波'として暗号資産やDCでのETFクラス活用へ、日本の種類受益権とファミリーファンド方式～」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_251208.pdf)。 巨額の運用を行う米国ファイナンシャルアドバイザーが高市政権に昨年12月から期待し始め、日本株志向を高めている可能性は十分あると思われる。

(出所: ﾌﾞﾙｰﾑﾊﾞｰｸﾞ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成) *ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

以　　上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:
「 https://www.am.mufg.jp/report/investigate/ 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部シニアリサーチアナリスト

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、
窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。
■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
■MSCI ワールド インデックス、MSCI ジャパンに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
■「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

MUFG
三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会